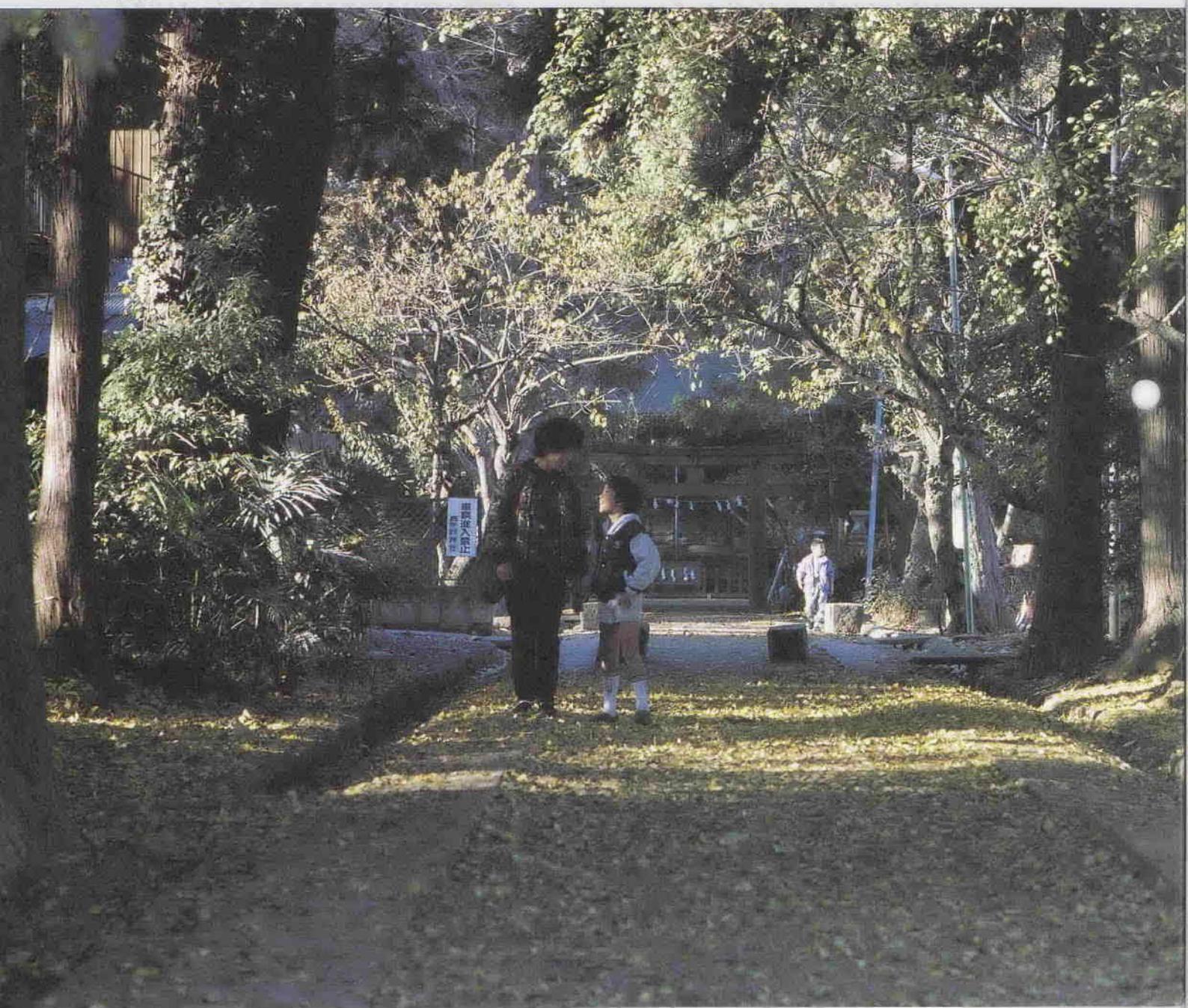


■ 地球人の年末行事	2
■ 年末年始の事業案内	6
■ 市長への提案から	7
■ 市税の夜間収納	8
■ 市の保養施設利用料金が改定	11
■ 表通り 裏通り 組み木作り教室	14
● 防犯のチラシが折り込まれています。	

川越景観百選⑨・三芳野神社



じじとしをむかえるために あおきうじのあてつだいをします。

# 地球人の年末行事

しげんになるものは、りやじくるするんだよね。



**無造作に何でも捨てる掃除では、たとえ家  
がきれいになつても地球が汚れてしまします。  
年末の大掃除は、地球に優しくお願ひします。**

地球の環境を良好な状態で保全するには、資源の計画的利用、分別とリサイクルによる不用物の再資源化と廃棄物の適切な処理が必要です。

環境保全にはリサイクルが重要な役割を果たしますが、資源としてリサイクルする基本は、それを材料ごとに分け、原料に近い形に戻すこと。このため、分別とリサイクルには密接な関係があります。

最も効果的です。「地球規模」といわれると漠然としてしまうかも知れませんが、皆さんの家庭や生活は、すべてが地球の未来にかかわっていることなのです。

## 大掃除分別のめやす

家庭から出される不用品の分け方を示しました。「ごみの分け方・出し方」を参考にして、もう一度確認してください。

- 1 机・粗大（自分で西清掃センターまたはリサイクルセンターを持って行くか、引き取りをリサイクルセンターへ電話で申し込む）
- 2 カバン・金属製のものは不燃、革・ビニール製のものは可燃
- 3 スプレー缶・穴をあけてガスを抜き、びん・缶
- 4 油性ペン・可燃
- 5 空きびん・空き缶・資源（集団回収または、びん・缶）

ある不用物は、捨てる前に何かに使えないか考えてみてください。フリーマーケットに参加して使ってくれる人に譲るなど、手元を離れるときに品物を生かす思いやりをお願いします。

分別とリサイクル。いずれも皆さんひとりひとりの意識によって家庭で行われることが

## 私たちは、21世紀も地球に住んでいます

21世紀が、またひとつ身近に感じられる年末。未来は時間とともに現在になりますが、今のところ宇宙の中で私たちが住める星は、地球以外にありません。かけがえのない地球を大切に、環境のことを考えながら大掃除してみませんか。

おかあさんにもおしえなくちゃ。



おとづさんにもおしえなくちゃや。

イクルセンターに運ばれ無色、茶、その他に分けられます。

ビールびん、一・八リットルびんは、販売店に戻してください。空き缶はスチール缶、アルミニウム缶に分けてください。

**6 時計・ラジオ↓不燃**

**7 ふどん・マットレス (スプリングのないもの)** ↓可燃 (六〇センチメートル以下に切る)

**8 カーバッテリー** →販売店または処理会社に依頼してください。

**9 電池・蛍光管** ↓○の付いた不燃の日に集積所に出してください。

乳白色のびん・耐熱ガラス・蛍光管・鏡などのガラスはリサイクルびんのものと異なるため、材料にすることはできません。

**10 残飯など** ↓コンポストまたは可燃

**11 網戸** ↓網の部分は可燃、わぐの部分は不燃枝↓六〇センチメートル以下ならば、しっかりと束ねて可燃

**13 スキー板** ↓不燃 (使えるものならフリーマーケットなどはいかがでしょうか)

**14 発泡スチロール** ↓一边が六〇センチメートル以下ならば可燃 (色のついていないトレーナーなどは、スーパー・マー・ケットなどの回収システムを利用して)

**15 ゴルフセット** ↓不燃 (使えるものならフリーマーケットなどはいかがでしょうか)

**16 ワックスの缶** ↓びん・缶 (中味は可燃)

**17 かさ** ↓不燃

**18 テレビ・パソコンモニター** ↓16型以下は不燃 (17型以上は粗大)

**19 灯油用ボリ容器** ↓不燃

**20 靴** ↓可燃

**21 ピデオテープ・カセットテープ** ↓可燃 (テープを利用する)

**22 ガラスのコップ・陶磁器** ↓不燃

**23 石油ストーブ** ↓石油を抜いて不燃 (大型のものを除く)

**24 ベット (ベッド等)** 用砂 ↓可燃

**25 ペットボトル** ↓可燃

回収、再利用についても研究が行われていますが、現在、川越市では焼却処理されています。ペットボトルの原料であるPET樹脂は炭素、酸素、水素の三元素からできているため、有毒ガスを発生しないことが実証されています。金属のふたは不燃物に出してください。

**26 エンジンオイル** ↓少量 (四~五リットル)ならば布などにしみ込ませて可燃

**27 ドリンクびん** ↓ふたは不燃びんは資源びんを出すときは、きれいに洗ってください。びんには、洗って何回も使う「リターナブルびん」と、細かく碎いて新しいびんの材料 (カレット) になる「ワンウェイびん=リサイクルびん」があります。

**28 タイヤ・バイクタイヤ** ↓販売店または処理会社に依頼

**29 自転車** ↓不要物であることを明記して不燃

**30 小型ガスボンベ** ↓販売店に依頼

**31 鏡** ↓不燃

**32 使い切りライター** ↓可燃

**33 天ぷら油** ↓固めて可燃

**34 牛乳パック** ↓洗って開き、束ねて集団回収またはスーパー・マー・ケットなどの回収システムを利用する

一般に一〇〇〇ミリリットルの紙パック三十枚 (一キログラム) でトイレットペーパー五、六個が作れるといわれています。

## 大掃除とりサイクルをいっしょに考えて

自然は、大きな循環によってバランスを保ち、膨大な時を費して形づくられてきました。生活をしている場所では気づきにくいかもしれません、自然の一端にある人間の生活が、自然自体に大きな影響を及ぼすこともあります。

## 市長への提案から NO.11



川越市長  
舟橋功一

### 学校の空き教室を 福祉に利用します

今回は、市政懇談会でいただいたご意見を紹介します。

#### (提案要旨)

最近の少子化傾向により、学校に空き教室があると思います。これを利用してデイサービスセンターが設置できないでしょうか。

#### (お答え)

私は、市長に就任以来、「福祉の川越」を重要な市政の柱に位置づけてきました。今年2月には、平成11年度を目標年度とする「川越市老人保健福祉計画」を策定し、21世紀の高齢社会に向け、動き始めたところです。

ご提案の件ですが、私もかねてから同様の考えがあり、国、県とも相談してきました。そして、11月8日、國の地方分権特例制度の適用を受け、余裕教室を老人福祉施設に転用することができることになりました。具体的には、霞ヶ関東小学校に「デイサービスセンター」を、高階北小学校に「老人憩いの家」の設置を計画しています。

「デイサービスセンター」では、身体が弱い高齢者等の在宅での生活を支援するため、通所により生活指導、食事サービス等を行います。

「老人憩いの家」では、高齢者を対象に教養の向上、レクリエーション等のための場を確保し、健康の増進を図ります。

いずれの事業も、小学校という身近な場で高齢者が気軽に集い、語らい、交流するとともに、子どもとのふれあい・交流の場として活用され、将来、人にやさしいまちづくりへの一つの糸口になればと考えています。

#### 年末年始の交通事故防止運動の重点目標

##### ■飲酒運転・速度違反などの無謀運転の追放



##### ■シートベルトの正しい着用の徹底



##### ■歩行者、自転車利用者の交通事故防止



##### ■違法駐車の締め出し



市内の交通事故は、十一月二十五日現在で十八人と昨年同期に比べ、三人増えています。特に、十月末から十一月にかけて、五件の死亡事故が連続して発生するなど、異常事態となっています。また、例年十二月は、飲酒運転などによる死亡事故が激増する傾向にあります。

そこで、市や警察署、交通安全協会などの関係機関・団体が連携し、この異常事態をストップさせようとしています。

四日までの間、「交通事故防止緊急対策」を実施しています。さら

に、十一月七日から十二月十

月十五日からは県下

一斉に「年末年始の交通事故防止運動」が来年一月三日まで展開されます。

市民の皆さんも、交通ルールを守り、交通事故の撲滅にご協力を

お願いします。

問い合わせ…交通安全課交通安全指揮係内線 0644

#### 年末年始の交通事故防止運動

市内の交通事故は、十一月

に

二

五

日

現

在

で

二

十

月

末

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら

二

十

月

中

か

ら



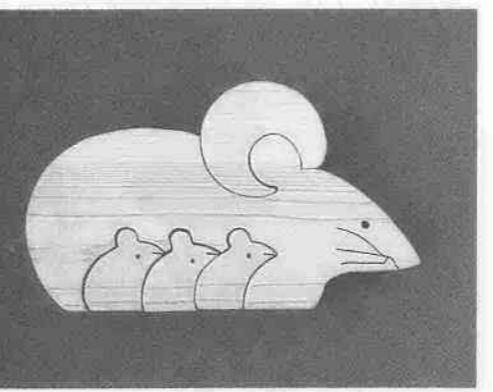




# 人づりへりから 地域おこしへ

日光東照宮の造営に際して、「眠りねこ」の彫刻を施した江戸初期の名工・左甚五郎。彼が、手遊びに作った「知恵組」が起源ともいわれている「組み木」。

組み合わせて遊ぶことがまだ難しい幼児たちは、積み木のように並べて遊びます。また、組み立てかたが四百通りもありながら、一時間かけても組めるかどうか難しい「十二支の組み木」は、パズル・マニアでも楽しめます。「こどもの城」では電動糸のこ盤で木片を切って動物やパズルを作る「組み木作り」を行っています。



内野智夫さんの作品



こどもの城の「組み木作り教室」



## ボランティアに 支えられて こどもの城

(石原町1丁目41-2)

子どもの健全な遊びと豊かな情操を育てる目的とした「こどもの城」。

ここには、高校生から高齢者まで、実に80人余りのボランティア

が活躍しています。趣味や専門を生かす人、若さを生かして子どもと遊ぶ人など。

こどもの城のボランティアの指導とサークル活動により、ミュージカルに青春をかける高校生。子どもたちとのかかわりによって、さらにレパートリーが広がり、折り紙研究家に発展したボランティア。こんな活動を通して子どもたちも、ボランティア多くのことを学び、共に成長しています。

**旅の空から**

わたしの旅日記

103

左端が内野さん

**私たちの小さな旅**

うちのさかえ  
**内野栄** (富士見町・66歳)

5月23日・24日、小学校時代の同窓生12人と鎌北湖へ出かけました。

現在のメルト(西文化会館)の敷地内に、かつてあった名細南小学校。この昭和14年度卒業生は、1学年1学級で6年間ずっと机を並べて過ごした仲間です。

卒業後の進路は農業、酪農業、建設業、教師、地方公務員とさまざま。66歳になって髪も薄くなり、白髪も目立ってきましたが、苦しかった戦争中、そして戦後の混乱期を経て、高度成長期を一生懸命頑張ってきた面々です。

久しぶりに会った顔は、だいぶ変わりましたが、ひと言ふた言会話が始まれば、かつての童顔が鮮やかに。宴会で盛り上がり、昔話に花を咲かせて旅の夜は更けました。

翌日の黒山三滝では、水辺に映るヤマメの姿にかつてのようだ歓声を上げながら、青葉茂る山道を歩きました。

いつしか少年少女のころに戻った、楽しい小さな旅でした。

**イラスト ニードル**

奥西麻由子 (15歳・南大塚)

**MERRY CHRISTMAS!!**

10月  
MOTODA DRAGON



「正しく、美しく、速く歩こう」をテーマに、毎年十一月三日に開催される川越ウォークソン大会は、今年で十三回目を迎えました。

「タイム」を競う「競技種目」と「歩くスタイル」を競う「レクリエーション種目」があり、健康

な人ならだれでも参加できるのが特色。小学生から高齢者までおよそ二千五百人が、コースとなつて今年で十三回目を迎えるました。伊佐沼周辺で汗を流しました。

午後からの閉会式では「競技」の十位までと「レクリエーション」からスタイル賞の百十人を表彰。また、八十歳以上の参加者にも、シルバー賞が贈られました。

初めてスタイル賞を獲得した参加者は、「毎日歩き続けた成果がでました。来年は、競技に挑戦したい」と感激した様子。

この大会の競技運営には、およそ四百人の市民が携わりました。競技の安全確保にあつた一人は「無事故でほっとしました」と大会の成功を喜んでいました。

## より楽しく競う 川越ウォークソン大会

## まちのできごと トーキング 川越市面積は109.18km<sup>2</sup> 109パレット

### 1日刑事課長出動

11月16日㈬、川越市自治会連合会会長の島田登茂治さん(65歳・笠幡)が、1日刑事課長を体験しました。三田勇川越警察署長から委嘱状を受け取り、さっそく制服姿で犯罪模擬現場へ出動。指紋・足跡採取に挑戦。「たいへんな仕事だ」ということがわかりました。市民と警察との協力関係を大切にしたい」と話していました。



### 他人を思いやる心

11月18日㈮、青少年健全育成川越市民大会が、やまとき会館で開催。青少年が日常生活で日ごろ考えていることを訴える「少年の主張」、青少年の健全育成に功績のあった個人と団体の表彰、感謝状の贈呈などを実施。また、女優の天地総子さんが「自分が変われば相手も変わるもの。他人を思いやる心が大切」と講演しました。



### 神様絵かきの芸術と生涯

川越が生んだ鬼才の画家・岩崎勝平の没後30年記念講演会が、11月23日㈭に市立博物館で開催されました。小林誠同館長補佐が、作品紹介を交えて「芸術と生涯」について講演。「川端康成から神様絵かきとその才能を評価されながら、埋もれた存在の岩崎さんの作品が見直されることを切望します」と熱弁をふるいました。



初めて手にする電動糸のこ盤のうなりとともに鼓動が高鳴り、作品のことよりも初めて扱うことの緊張で頭がいっぱいに。

何回も参加している子どもたちには、いつも新しい作品への夢をかきたててくれます。また、同じ親のほうが夢中になってしまふこともあるとか。「組み木作り」は、参加する人にさまざまな世界を繰り広げてくれます。

こんな光景の中で「こどもの城」の「組み木作り教室」は、開催されています。会社の休日を利用してボランティアで指導しているのが内野智夫さん(51歳・三光町)。

■自由な発想で木製帆船の製作として十年前に購入した電動糸のこ盤。これを

使って「もっと自由な発想で、いろいろなものを作りたい」と、始めたことがきっかけだそうです。

電動糸のこ盤で型にあわせて木片を切り抜く、慣れれば簡単な作業。コツは「直線は早く、曲線はゆっくり」と慌てずに操作することだそうです。

内野さんが取り組むのは、猫や犬といった子どもに親しまれている身近な動物。馬やペンギンの親子など、見ているだけでもほほえましく感じられます。また、季節にあわせてひな人形、こいのぼり、サンタクロースなども。

内野さんは目を細めています。昨年六月から始めて合計二十一回、延べ五百五十人が参加。

内野さんの魅力と内野さんの人柄にひかれ、十八回も参加した小学三年生もいます。

■活躍する「まな弟子」 「もつとたくさんの人に知ってもらいたい」と、今年の六月には、

高階南公民館で大人を対象に教室を開催。高齢者から若い主婦まで幅広い参加者があつたそうです。

この「生徒」たちが、地元の小学校でボランティアとして教室を

開催。地域の交流に一役買っています。「もう幼稚園や公民館の催しで、ひっぱりだこになつてします」と「まな弟子」の活躍ぶりに内野さんは目を細めています。

また、精神薄弱者更生施設の「愛学園」では、作業指導の一環として「組み木作り」を利用。園生の機能訓練に役立てています。

内野さんは目を細めています。

■人づくりから地域おこしへ 自分の趣味を生かし、その感動

を子どもたちと分かち合おうとして始まった内野さんの子どもたち

のファンを得るだけでなく、着実に根を張り、人づくりから地域おこしにと広がっています。

■人づくりから地域おこしへ 「組み木作品展」が、来年一月二十日㈮から川越西郵便局一階ギャラリーで開催されます。

# 和紙にたくして。9

シクラメン

文 はり絵  
新井紀子さん



寒さが厳しい師走のまちは  
慌ただしく人が行き交い  
送る年と迎える年がかさなるように思える。  
この時期、贈り物によくシクラメンをいただく。  
長い「冬モリ」に入った私たちにとって  
この花は何よりの心の慰めとなってくれる。  
ガラス越しに暖かい日ざしが差し込む部屋で  
好きな音楽を聞きながら二人でほり絵をする。  
時間がゆっくり流れれるそんな日は  
いろいろな幸せのあることを感じる。  
私たちにとって忘れる事のできない一年も  
数えるばかりになってきた。  
新しい年はどうなだらう。  
ささやかに希望をたくして  
薄紅色の花と春までの時を過ごす。

## どみぐり

編集日記

12月は、師走というだけあって、忘年会や年賀状の準備などであつて、という間に過ぎていきます▶今回の号にリサイクルに関する記事を掲載しています。年末の大掃除の後に出てるゴミは大変な量。再利用できるものはないか、ゴミにする前に見直しを▶集積所に、通りすがりにゴミを捨てていく人がいます。利用者が交代で清掃し、清潔に保たれた集積所は「ゴミ捨て場」ではなく、一般家庭のゴミを集めるための一時的な置き場所▶最終処分場の容量にも限界があります。効率よく利用していかなければなりません。ゴミ処理の経費も、できる限り減らして、もっとほかに生かしたいものです。

### 表紙の写真（三芳野神社・郭町2）



## TV わが街川越 番組ガイド

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日

午後5時30分～5時40分

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

■午後10時15分～10時25分

**12.13 TUESDAY 12.20 TUESDAY** 時を超えてII

明治27年建築、高さ16.2メートル、蔵の街に時を告げて100年。川越のシンボルとして親しまれる「時の鐘」について、さまざまな角度から魅力を探っていきます。暮らしになじんだ鐘には、川越らしさがいっぱいです。



埼玉川越総合地方卸売市場

**12.27 TUESDAY**

川越1994

今年最後の番組は、平成6年の川越市内の出来事をまとめた「わが街川越」の総集編をお送りします。川越総合地方卸売市場や南文化会館などがオープン。川越まつりや百万灯夏まつりなどの行事も盛大に行われました。

- ★平成4年度までに放送された「わが街川越」は市立図書館AVコーナーでご覧になります。
- ※貸し出しカウンターでお尋ねください。
- ★平成4年度までに放送された「わが街川越」のうち、文化財・伝説を扱ったものは市立博物館のビデオルームでご覧になれます。

■発行／平成6年12月10日（毎月10日・25日発行）  
■編集／川越市広報課 〒350 埼玉県川越市元町1-3-1 ☎0492-24-8811内線2132  
■発行人／川越市長 舟橋功一  
■印刷／有青山印刷

広報川越は再生紙を使用しています